

## 「第7期南砺市障がい福祉計画」第3回策定委員会 議事概要

開催日	令和6年1月16日(火) 10:00~11:20																																									
場 所	南砺市地域包括ケアセンター 2階 多目的研修室																																									
出席委員	<p>13名</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">南砺市民生委員児童委員協議会</td> <td style="width: 20%;">得能 金市</td> <td style="width: 30%;">副委員長</td> </tr> <tr> <td>NPO法人南砺市医師会</td> <td>清水 幸裕</td> <td></td> </tr> <tr> <td>南砺市社会福祉協議会</td> <td>中山 繁實</td> <td></td> </tr> <tr> <td>南砺市身体障害者協会</td> <td>宮崎 平作</td> <td></td> </tr> <tr> <td>南砺市手をつなぐ育成会</td> <td>西部 穰</td> <td></td> </tr> <tr> <td>社会福祉法人 溪明会</td> <td>室崎 千絵</td> <td></td> </tr> <tr> <td>社会福祉法人 わらび学園</td> <td>横山 知江</td> <td></td> </tr> <tr> <td>社会福祉法人 マーシ園</td> <td>中盛 京子</td> <td></td> </tr> <tr> <td>富山県立となみ総合支援学校</td> <td>安谷亜佐美</td> <td></td> </tr> <tr> <td>砺波圏域障害者基幹相談支援センター</td> <td>吉田 孝則</td> <td></td> </tr> <tr> <td>富山福祉短期大学</td> <td>鷹西 恒</td> <td>委員長</td> </tr> <tr> <td>公募委員</td> <td>増山 豊輔</td> <td></td> </tr> <tr> <td>公募委員</td> <td>沢田 千秋</td> <td></td> </tr> </table>			南砺市民生委員児童委員協議会	得能 金市	副委員長	NPO法人南砺市医師会	清水 幸裕		南砺市社会福祉協議会	中山 繁實		南砺市身体障害者協会	宮崎 平作		南砺市手をつなぐ育成会	西部 穰		社会福祉法人 溪明会	室崎 千絵		社会福祉法人 わらび学園	横山 知江		社会福祉法人 マーシ園	中盛 京子		富山県立となみ総合支援学校	安谷亜佐美		砺波圏域障害者基幹相談支援センター	吉田 孝則		富山福祉短期大学	鷹西 恒	委員長	公募委員	増山 豊輔		公募委員	沢田 千秋	
南砺市民生委員児童委員協議会	得能 金市	副委員長																																								
NPO法人南砺市医師会	清水 幸裕																																									
南砺市社会福祉協議会	中山 繁實																																									
南砺市身体障害者協会	宮崎 平作																																									
南砺市手をつなぐ育成会	西部 穰																																									
社会福祉法人 溪明会	室崎 千絵																																									
社会福祉法人 わらび学園	横山 知江																																									
社会福祉法人 マーシ園	中盛 京子																																									
富山県立となみ総合支援学校	安谷亜佐美																																									
砺波圏域障害者基幹相談支援センター	吉田 孝則																																									
富山福祉短期大学	鷹西 恒	委員長																																								
公募委員	増山 豊輔																																									
公募委員	沢田 千秋																																									
欠席委員	<p>2名</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">独立行政法人国立病院機構 北陸病院</td> <td style="width: 20%;">吉田 光宏</td> <td></td> </tr> <tr> <td>公募委員</td> <td>長谷川京子</td> <td></td> </tr> </table>			独立行政法人国立病院機構 北陸病院	吉田 光宏		公募委員	長谷川京子																																		
独立行政法人国立病院機構 北陸病院	吉田 光宏																																									
公募委員	長谷川京子																																									
傍聴者	なし																																									
事務局	<p>10名</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">地域包括医療ケア部長</td> <td style="width: 20%;">松田 哲也</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地域包括医療ケア部次長・地域包括ケア課長</td> <td>大橋 誠</td> <td></td> </tr> <tr> <td>総合政策部次長・こども課長</td> <td>溝口 早苗 (代理 河原 洋子)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地域包括医療ケア部福祉課課長</td> <td>上野 真希</td> <td></td> </tr> <tr> <td>障害福祉係長</td> <td>日西木の実</td> <td></td> </tr> <tr> <td>障害福祉係副主幹</td> <td>澤山 絵里</td> <td></td> </tr> <tr> <td>障害福祉係主任</td> <td>足立 和哉</td> <td></td> </tr> <tr> <td>障害福祉係主事</td> <td>片山 千裕</td> <td></td> </tr> <tr> <td>障害福祉係主事</td> <td>土居 弥鈴</td> <td></td> </tr> <tr> <td>障害福祉係主事</td> <td>本谷 航仁</td> <td></td> </tr> </table>			地域包括医療ケア部長	松田 哲也		地域包括医療ケア部次長・地域包括ケア課長	大橋 誠		総合政策部次長・こども課長	溝口 早苗 (代理 河原 洋子)		地域包括医療ケア部福祉課課長	上野 真希		障害福祉係長	日西木の実		障害福祉係副主幹	澤山 絵里		障害福祉係主任	足立 和哉		障害福祉係主事	片山 千裕		障害福祉係主事	土居 弥鈴		障害福祉係主事	本谷 航仁										
地域包括医療ケア部長	松田 哲也																																									
地域包括医療ケア部次長・地域包括ケア課長	大橋 誠																																									
総合政策部次長・こども課長	溝口 早苗 (代理 河原 洋子)																																									
地域包括医療ケア部福祉課課長	上野 真希																																									
障害福祉係長	日西木の実																																									
障害福祉係副主幹	澤山 絵里																																									
障害福祉係主任	足立 和哉																																									
障害福祉係主事	片山 千裕																																									
障害福祉係主事	土居 弥鈴																																									
障害福祉係主事	本谷 航仁																																									

## 1 開会

(午前10時～)

事務局：本日は委員15名中13名の方にご出席いただいております。本要綱第6条第2項の規定により、本委員会は成立することをご報告いたします。

## 2 挨拶

委員長：本来であれば新年の挨拶のところではありますが、能登の地震でたくさんの方がお亡くなりになっております。本校の学生の中には能登出身の方が多く、被災されている状況です。道路等に亀裂が入り、自宅に戻りたくても戻れないというニュースが報道される等、今回の地震に大変驚きました。本校も断水になったり、図書館の本が棚から落ちてしまったり、影響が出ております。障がい福祉に限らず災害に備えることが必要であると思いました。今回は、今まで議論いただきました障がい福祉計画のまとめに入る日になります。忌憚のない意見をお願いします。

(事務局より、資料の確認)

## 3 議事

### (1) 第7期障がい福祉計画(修正案)

(資料に基づき事務局から説明・・・資料1)

委員長：只今の説明にご意見・ご質問等ありましたらお願いいたします。

委員：**当日配布資料**5ページの一番下にある追加修正案の確保策について、南砺市は以前よりペアレントプログラムに取り組んでおり、保護者の中で「ほめ・のび」の愛称で定着、浸透しています。実施機関がこども課から保健センターに変更となっても同じ名称であれば分かりやすいと考えます。

事務局：実施機関が変わっても、教室の名称変更の予定はないです。確保策の記載中、「ペアレントプログラム」の後に「ほめ・のび教室」の字句を追加させていただきます。

委員：ペアレントプログラムとペアレントトレーニングの違いは何でしょうか。

事務局：ペアレントプログラムは子どもの障がいに関わらず、子どもへの関わり方に悩んでいる保護者に対して行います。ポピュレーションアプローチとして、ほめ・のび教室にて実施しております。ペアレントトレーニングは通院している保護者に声かけして実施する予定であり、対象者を分けた実施を考えています。

委員：今回の説明で分かりました。

委員長：他市の計画でも定着している名称を記載していますので、「ほめ・のび教室」の記載について、いいと思います。他にご質問はありますか。

委員：発達障がいの受診件数は受診した回数ですか、実人数ですか。

事務局：実人数と考えています。出典の「砺波厚生センター事業の概要」には、自立支援医療（精神通院）と医療保護入院の入院件数と退院件数、定期病状報告の4つの項目について件数ということで挙げておりますが、人数であると事務局では捉えています。

委員：発達障がい相談件数が減って受診件数が増えたのは、相談していた方が受診に回ったためですか。

事務局：相談件数は子どもを対象とした相談件数であり、受診件数は、子どもにとどまらず大人も含む件数となっているため、相談から受診に回ったとは結び付けにくいと考えます。

委員：もう少し、この部分について正確に記載してもよいと思います。

委員長：子どもの頃の相談に加え、大人についても合わせて考えるというのは難しいと思いますが、把握できる範囲で反映していただけたらと思います。他にご質問はありますか。

委員：現場の感覚としては、発達障がいで相談は増えてきていると感じていたのですが、追加修正案で現状が反映され納得しました。また、資料110ページの(2)学校の状況において、特別支援学級の高等部が数値になっていませんが、特別支援学級から高校への進学後に不登校・ひきこもりとなる学生の相談が最近増えています。今後の問題・課題ではないかと思えます。

委員長：大学でも同様に、就職活動が上手くいかず、発達障がいではないかと分かるケースがあります。高校では進路相談の際に障がいではないかと分かることもあります。高校によっては、障がいがあることが分かっている学生については、教育コーディネーターによる配慮について記載した書類の提供や教師が配慮の必要な部分を進学先に説明されることもあります。そういった方全員が障がい者であるかという点、そうではないこともあり、数値の出し方は難しいと思います。また、本人及び家族が受容していない場合もあります。感想として述べさせていただきました。他にご質問はありますか。

委員：当日配布資料5ページ中ほどにある追加修正案の確保策に「緊急時」とあるが、基準を定めておかないと、実際に機能しないのではないのでしょうか。

事務局：「緊急時」は地震等の災害だけでなく、家族の冠婚葬祭等についても考えており、計画の中では「緊急時」とまとめた表現としています。砺波圏域地域生活支援拠点等の整備・運営に関するガイドラインにおいて、「緊急時」とは、家族や介護者の疾病や冠婚葬祭により他の親族の支援も得られない状態、障がい児者の緊急な疾病や体調変化で家族等が専門的な対応できない状態、障がい者虐待等における緊急保護等の緊急対応が必要な状態について定義していますので、災害の時と分けて、それぞれについてきめ細やかな対応ができるよう、事業所等とも連携し検討したいと考えています。

## (2) 今後のスケジュールについて

(資料に基づき事務局から説明・・・資料2)

委員長：只今の説明にご意見・ご質問等ありましたらお願いいたします。第4回策定委員会の開催についてご意見等ありますでしょうか。

委員：(意見なし)

委員長：今回の意見を踏まえて、パブリックコメントを実施することになります。修正が必要となった場合には、委員長と事務局で調整しまとめていき、皆様には最終案をお目通しいただくということで進めていきます。他にご質問等がなければ、順番にご意見をお願いします。

委員：今まで福祉の施策は、客観的な統計に基づくものでしたが、これからは客観的な統計に加え、主観的な幸せ実感(ウェルビーイング)を障がい者の視点で評価していくことが必要であると考えています。

委員：今回の計画では数値化された目標値を設定していますが、数値に捉われず、サービス等を利用したい人の現実等を踏まえて対応していただきたいです。

委員：支援学級の人数が増えてきており、障がい者がネックとなり、保護者が悩みを共有できず孤立しているのではないかと感じています。支援学校であれば保護者同士のつながりがあり意見交換等が可能ですが、支援学級の子の保護者はつながりがないのではないかと危惧しています。今後の課題であると考えており、少しでも悩める保護者の相談に乗りたいと思う反面、実行しきれないもどかしさを感じています。

委員：計画の表紙に花椿かがやきの利用者の刺し子の作品が使われており、温かい福祉の心を感じました。

委員：これまで、障がいについての具体的な数値等を知ることがなかったので、良い機会となりました。

委員：数値になっているので、分かりやすかったです。今回の地震で、震度5強はこれまで体験したことがなく、咄嗟の判断で逃げることができませんでした。また、避難場所も分からない、犬を連れて避難ができるのか分からない状況でした。今回の経験を活かして、避難の体制について整えていかなければいけないと思いました。

委員：数値目標と幸せ実感とありましたが、まず幸せ実感に向かって、現状を数値で見ることが大事であることを勉強させていただきました。学校の状況において、特別支援学級の人数が増えてきており、その中には特別支援学校に進学する方もいますが、ほとんどは私立や通信の高校に進学する話を聞きます。情報提供として、県内に通級指導を受けられる学校が4か所あります。南砺でも通信の学校ができると耳にしたので、障がいのある方の受け皿になるのではないかと期待しています。

委員：計画がまとめ、次は見込量に向けて活動していくことになりますが、実績の中で、サービス事業所が無いからゼロ、利用が少ないからゼロとなっているサービスの利用を促進できるように計画を進めていただきたいです。また、ウェルビー

イングの関連として、アンケートにも満足度を回答する項目を次回に盛り込むのもいいかなと思いました。

委員：当日配布資料4 ページ下にある追加修正案の〔サービスの説明〕の就労選択支援の項目に「令和7年10月開始」と明記されて、より分かりやすくなりました。今後、就労選択支援と資料119 ページと絡み合っただけで一般就労への道筋が変化していくと感じています。

委員：今回の災害にあたり、入所施設に障がい者の受け入れ依頼がありました。当施設でも断水する影響があり、どう備えるか考えておく必要があると感じました。また、福祉避難所として地域の方を受け入れする際に、物品等準備しておく必要があることも感じました。備えについて、市からの補助を検討していただけると幸いです。

委員：南砺市にも活断層があるので、災害に対する備えを考えて欲しいです。また、災害が起こってからボランティアが動きたいと思っても、登録されていないと活動できない状況に対し、平時より、ボランティアの登録をしておけば迅速な対応につながるのではないのでしょうか。計画の印刷を物品調達に基づいてマーシ園八乙女へ発注する旨記載がありますが、協会が発行している冊子で利用した場合、金額はどの程度かかるのでしょうか。

事務局：災害対応については、反省点が多く、どういう対応が望まれるのか検討することとなっています。

委員：印刷の値段交渉については、事業所に直接ご相談ください。

委員：今回の地震について民生委員からも意見を聞いており、研修等で学んだことを生かす対応ができ、良い機会となりました。さらに、今後のことを考えていかなければならないと思いました。

委員長：地震のことについて、心配をして電話で連絡をくれた学生等もいました。他にも、南砺市で一人暮らししている方へホームヘルパーや民生委員、相談支援事業所等々多方面から安否確認の連絡を頂いて安心したという話も聞きました。過去の近隣での地震を調べたところ、江戸時代1799年に森本断層での地震があり、南砺市にあたる地域も被害を受けたのではないかと思います。いつ地震が起こるか分からない中、備えておくことが大切だと思います。また、学校、就労先などできるだけ選択肢を増やすことが幸せを高めることにつながっていくのではないかと思います。皆様にご意見いただいた計画が実行性の高いものとなりますよう期待します。何年後かに策定する障害者基本計画の考え方につながっていくものになったかと思います。忌憚ない意見をありがとうございました。

#### 4 その他

事務局：事務局からは特にございません。

副委員長：昨年から審議に加わっていただきありがとうございました。今回の計画は中間

地点であり、今後さらに高みを目指す必要があると思っています。経済中心となっている格差社会が増え、その中には福祉社会の中の格差社会があり、特に障がいある方への施策を手厚くし、暮らしやすい社会を作っていく必要があると思っています。計画については、パブリックコメントを経て委員長と事務局にお任せすることになったということで、以上で閉会のあいさつとします。

事務局：以上をもちまして「第7期南砺市障がい福祉計画及び第3期南砺市障がい児福祉計画」第3回策定委員会を終了させていただきます。本日は、慎重な審議をありがとうございました。

5 閉会

(午前11時20分)